



イエルマ

作：オノマリコ 構成・演出：稲葉賀恵

出演：咲妃みゆ 渡邊圭祐 小林亮太  
樋之津琳太郎 大場みなみ 青山祥子 前東美菜子  
渡辺いっけい

2026 10.17(土)・18(日) 各日1:00PM開演(12:30PM開場)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

全席指定 9,500円(税込)

ご予約・お問合せ：芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM/月曜休み ※祝日の場合要旨]

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 企画制作：世田谷パブリックシアター

# ロルカの「イエルマ」を出発点に立ち上げる 現代で自分の生きる価値を見出そうとする、女と男たちの物語

# YERMA

## イエルマ

作：オノマリコ 構成・演出：稲葉賀恵

スペインの詩人・劇作家のフェデリコ・ガルシア・ロルカの古典的名作「イエルマ」は、1930年代のスペインの寒村で子供ができないことに苦悩し家庭生活に非協力的な夫を狂気の果てに手にかける若い妻イエルマを苛烈に描いています。

今最も勢いのある演出家・稲葉賀恵が、個性的な作風で注目を集める作家・オノマリコとタッグを組み、この古典の傑作を出発点に物語を現代に置き、新作演劇を立ち上げます。

自身の存在価値に苦悩する女イエルマ、幼馴染のビクトル、秘密を抱えた夫フワン、それぞれが、もがく姿を映し出します。

都心から少し離れたところにある一軒家。イエルマが夫フワンを見送ると、いつの間にかリビングに一人の老婆が座っている。心身の不調が原因で仕事をあきらめ結婚したイエルマは、夫との子供が欲しいと思っている。イエルマは子供ができない寂しさを、老婆に語る。壊れそうなフワンとの関係。同居している義理の姉。リモートワークの部屋として、家の空き部屋を借りている幼馴染のビクトル。仕事をしながら妊娠にも成功した友人たち。この世の中からの承認を求めているイエルマは、自分には存在価値がないのではないかと疑っている。その混乱は、夫のフワンにも伝染していく。



2026 10.17(土)・18(日) 各日1:00PM開演(12:30PM開場)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

### 一般発売

2026年7月25日(土)

芸術文化センター会員先行予約受付開始 7月11日(土)

### 料金

全席指定:9,500円(税込)

### チケット取扱い

- 芸術文化センター  
0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>  
芸術文化センター 2階総合カウンター  
[7月26日(日)より、残席がある場合のみ]
- チケットぴあ <https://pia.jp/t/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com>
- イープラス <https://eplus.jp>

### ツアー情報

- 東京** 9月21日(月・祝)～10月12日(月・祝)  
会場：シアタートラム
- 宮城** 10月31日(土)～11月1日(日)  
会場：多賀城市民会館 大ホール
- 愛知** 11月7日(土)～8日(日)  
会場：東海市芸術劇場 大ホール

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM～5:00PM/月曜休み ※祝日の場合翌日]

※車いす席はお電話でのみ販売しております。※未就学児童はご入場いただけません。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※プレイガイドでのお取り扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。

美術：二村周作 照明：齋藤茂男 音響：井上正弘 衣裳：高木阿友子  
ヘアメイク：大宝みゆき ステージング：平原慎太郎 音楽：西井夕紀子  
演出助手：城田美樹 舞台監督：田中直明  
プロダクションマネージャー：勝 康隆 技術監督：福田純平  
宣伝美術：相澤千晶 宣伝写真：皆川 聡 宣伝衣裳：高木阿友子  
宣伝ヘアメイク：YOSHI.T  
アシスタントプロデューサー：法月智美 プロデューサー：天下玲美  
世田谷パブリックシアター芸術監督：白井 晃



○阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

○JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター  
企画制作：世田谷パブリックシアター